

(様式第2号) 奈良県福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名：(株)ぐりーん

評価実施期間：平成29年12月7日～30年9月20日

1 評価機関

名称	特定非営利活動法人 ふくてつく
所在地	大阪市住吉区南港北2-1-10 ATC・ITM棟11階 エイゼス

2 事業者情報【平成30年9月1日現在】

事業所名称 (施設名)	ぐりーん (天理本店・橿原支店・菅原支店)	サービス種別	放課後等デイサービス
開設年月日	天理本店：2013.3.1	管理者氏名	佐野 明香
	橿原支店：2013.8.1		奥田 純平
	菅原支店：2012.11.1		中山 裕太
設置主体	平成23年7月20日	代表者 職・氏名	代表取締役 福隅 勇
経営主体	平成23年7月20日	代表者 職・氏名	代表取締役 福隅 勇
所在地	〒632_0076	奈良県天理市岩室町57-4	
連絡先電話番号	0743-62-7557	FAX番号	0743-85-4140
ホームページアドレス	https://www.green-2017.com/		
E-mail	info@green-2017.com		

基本理念・運営方針

【理 念】 とともに学び、ともに成長し、ともに生きるため

【基本方針】

- (発達支援) ライフステージに応じた可能性を引き出し、自立して行くための力をつける支援
- (地域支援) とともに地域で暮らしていくための支援
- (家族支援) 最も身近な存在であるご家族の支えとなり得る支援

【利用者の状況】 (3店の合計) 利用者数は登録者数

定 員	30人	利用者数	80人
-----	-----	------	-----

※) 施設種別ごとに、利用者の年齢階層、利用期間、障害の程度・内容など、その施設の特徴が明らかになるようなデータを適宜添付してください。

(様式第2号) 奈良県福祉サービス第三者評価結果報告書

2 事業者情報【平成30年9月1日現在】

【職員の状況】

※各店別に記す

■ 天理本店

職 種	勤 務 区 分				常勤換算 ※	基準職員数 ※
	常 勤 (人)		非 常 勤 (人)			
	専 従	兼 務	専 従	兼 務		
管理者		1				
児童発達支援管理 責任者		1				
児童指導員	1		2			
保育士	1		1			
前年度採用・退職の状況：	採 用		常 勤 3人		非 常 勤 1人	
	退 職		常 勤 2人		非 常 勤 6人	
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					2 年	
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					1 年	
○常勤職員の平均年齢					30 歳	
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢					24 歳	

■ 橿原支店

職 種	勤 務 区 分				常勤換算 ※	基準職員数 ※
	常 勤 (人)		非 常 勤 (人)			
	専 従	兼 務	専 従	兼 務		
管理者		1				
児童発達支援管理 責任者	1					
保育士		1	1			
児童指導員			4	1		
前年度採用・退職の状況：	採 用		常 勤 1人		非 常 勤 1人	
	退 職		常 勤 2人		非 常 勤 2人	
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					3 年	
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					1 年	
○常勤職員の平均年齢					34 歳	
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢					24 歳	

(様式第2号) 奈良県福祉サービス第三者評価結果報告書

■ 菅原支店

職 種	勤 務 区 分				常勤換算 ※	基準職員数 ※
	常 勤 (人)		非 常 勤 (人)			
	専 従	兼 務	専 従	兼 務		
管理者		1				
児童発達支援管理 責任者	1					
児童指導員		1		3		
保育士	1					
前年度採用・退職の状況：		採 用	常 勤 1人	非 常 勤 0人		
		退 職	常 勤 0人	非 常 勤 0人		
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					2 年	
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					1 年	
○常勤職員の平均年齢					27 歳	
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢					25 歳	

※常勤換算数及び基準職員数は、当該職について、運営基準等で定められている場合のみ記入してください。

3 評価の総評

◇特に評価の高い点

《進取の気風》

放課後等デイサービスは2012年4月の創設以来、多様な事業主体の参入・撤退が続き、今日まで様々な混乱や課題が指摘されてきました。これにより、毎年のように制度の見直しが繰り返されています。(株)ぐりーんは制度創設の初年度に、当時23歳の若さで現社長が事業を創立され、若い情熱をぶつけて推進されてきました。これに共鳴して若い優秀な職員も揃い、社長の前向きな姿勢と配慮が奏功して、明るく働きやすい職場環境も形成されています。

《大胆な改革取組》

また、近年になって外部から専門家を招聘してその意見を取り入れ、私見に偏ることなく適正な運営を目指す取組にも着手してこられました。その一環として、このたびは、義務化されている「放課後等デイサービスガイドライン」に規定されている自己評価には飽きたらずに、福祉サービス第三者評価の受審をされました。受審契約から約10か月の短期間に、3事業所管理者をはじめ多くの職員の参画のもと、それまでは未整備であった規定や各書式の整備、事業計画等の立案がなされてきたことは大いに評価されます。またその間、自己評価の取組には頻繁な会議が行われており、職員に共通認識が形成されるとともに、高度な研修機能を発揮されたことは特筆に値します。

《信頼できる支援》

具体的日常的ケアにおいては、子どもたち一人ひとりの特性に目を向け、自発的意思を尊重して見守る姿勢を大切にしています。事業所ごとに特徴を持たせ、動くことが好きな子には大型エア遊具のある施設、静かにしたい子には本や玩具がたくさんある施設といった具合に、適性に応じた配慮をしたり、事業所相互の行き来をしたりして、子どもたちが気持ち良く過ごせる場を提供しようとしています。これまで6年間の実績を通じて地域に認知され、利用者家族から信頼を得ています。

(様式第2号) 奈良県福祉サービス第三者評価結果報告書

◇改善を求められる点

《今後の実践が問われる組織・体制改革》

事業開始後これまでは、「やりながら、走りながら」考え、支援・サービスに当って行くやり方になっていて、組織としての運営体制やサービス質の向上にむけた組織的な仕組みづくりは不十分でした。しかし、この度の第三者評価受審を経て、多くの課題に気づきがあり、短期間の間に様々な“仕組”づくりが進められたことは前述のとおりです。それなりに成果も認められます。

しかしながら、その多くは端緒についたばかりであって、実態が伴もなうレベルには至っていません。理念にも謳われているように、子どもたちのライフステージを俯瞰した最善の利益の追求や、社会性を育むための取組として地域社会や学校教育とのより踏み込んだ連携の具体化が喫緊の課題です。子どものトータルな生活支援には、家族を支える活動も先送りにはできません。一方、事業所における、こどもの安心・安全を保障し、豊かな情操を育むための基本的な環境整備、一人ひとりの子どもの個別支援を可能とする“場”の設定など、足元を再確認してより好ましい事業所にしてゆく課題も山積しています。今回の第三者評価受審の取組を、事業所内でのPDCAサイクルを定着する仕組みとして継続されることを期待します。

積極果敢な体質改善を追求されていますが、子ども本位の姿勢や働きやすい職場環境・人間関係など、これまでに培われた長所を継承することも大切です。今後とも職員のモチベーションが維持されるよう、丁寧な合意形成と柔軟な対応が求められます。

《評価機関として強調したい課題》

具体の課題をあげるとすれば、

- ①職員と家族の接点を、送迎時の声掛けや事業所での生活日誌報告に留まらず、様々な機会を設けて、家庭での生活情報を深く吸い上げるとともに、家庭支援の実効性を高めることが求められます。
- ②子どもの社会性を育むことを目的とした、地域交流に積極的に取り組むことが求められます。

4 施設・事業所の特徴的な取組

- ぐりーんは株式会社として2011年に設立、放課後等デイサービスを中心に活動している。
 - ・放課後等デイサービスは奈良県内の四事業所で実施している。(うち一事業所は新設)
 - ・そのほか、おもに障がい者を対象に居宅介護や外出支援等の事業を展開している。

- 事業所の認知性を高めることを意図した取組があり、成功している。
 - ・各事業所は目につきやすい位置にあり、事業所PRも積極的に行なっている。
 - ・送迎車輛は独特の緑色であり、市民び認知度が高い。

- 各事業所それぞれに特徴があり、利用者はその特性や希望に応じて事業所を選択できる。
 - ・大型エア―遊具を取り入れ、体幹を鍛えつつ、気分転換やストレス解消ができる
 - ・書籍や遊具を豊富に揃え、自由に楽しむことができるよう配慮している。(その他詳細は下記参照)

- 子ども一人ひとりの自主性を尊重している。
 - ・平日は自由時間を中心に、子どもたちが気持ちよく過ごせる場を提供している。
 - ・水曜には料理実習、休日には音楽や創作活動などの支援プログラムもある。

- より一層のサービス向上と組織体質の強化に向けて、大胆な改革に着手した。
 - ・放課後等デイサービスのガイドラインに沿った自己評価結果をHPで公開している。
 - ・福祉サービス第三者評価受審をてこに、職場の意識改革、組織改革に取り組んでいる。

■以下、各事業所の特徴

(天理本店)

- ・天理支店は、本を多数揃えており、読書が好きな方にリラックスして過ごして頂けるよう提供している。
- ・休日及び長期休暇には、9:00~17:00で利用できるサービス提供時間を設定している。
- ・近隣には徒歩2~3分の池と公園があり、利用者のニーズに応じて池の周辺を散歩したり、公園で遊んだり地域の資源を活用した遊びも行える。

(橿原支店)

- ・大型のエア―遊具・ボルタリングを設置しており、体を動かすスペースを確保している。
- ・また、勉強を行うことができるスペースもあり、学習支援を行っている。

(菅原支店)

- ・学習支援を積極的に取り入れている。
- ・エア―遊具を設置し、体を動かす支援を積極的に取り入れている。
- ・近くに公園があり、体を動かす活動を積極的に取り入れている。